

2015年度 IR決算説明資料

2016年5月17日

日本テレビホールディングス株式会社

**本説明会及び資料の内容には、
将来に対する見通しが含まれていることがあります。
しかし、実際の業績は、
さまざまな状況変化や要因により、
これらの見通しと
大きく異なる結果となり得ることがあり、
何らの保証やコミットメントを
与えるものではありません。ご了承下さい。
また、本資料の無断転載はお断りいたします。**

決算のポイント

- 2015年度連結決算は増収増益
 - 日本テレビ放送網の業績大幅向上。
高視聴率を背景に放送収入増加。
映画、イベントも好調。バップ黒字化。
Hulu改善。ティップネス貢献。
 - 中期経営計画Next60の数値目標達成。
-

連結 売上高・利益

(百万円)

	2014年度	2015年度	増減率 (%)
売上高	362,497	414,780	14.4
営業利益	42,382	53,178	25.5
経常利益	48,696	57,791	18.7
親会社株主に 帰属する純利益	30,467	36,883	21.1

日本テレビ放送網(単体) 売上高・利益

(百万円)

	2014年度	2015年度	増減率 (%)
売上高	290,460	307,077	5.7
営業利益	38,049	45,833	20.5
経常利益	39,658	53,513	34.9
当期純利益	24,622	30,116	22.3

テレビ広告収入 -地上波放送(日本テレビ放送網)-

(百万円)

	2014年度	2015年度	比較	増減率 (%)
放送収入	238,511	248,450	9,938	4.2
タイム	115,402	118,368	2,965	2.6
スポット	123,109	130,082	6,972	5.7

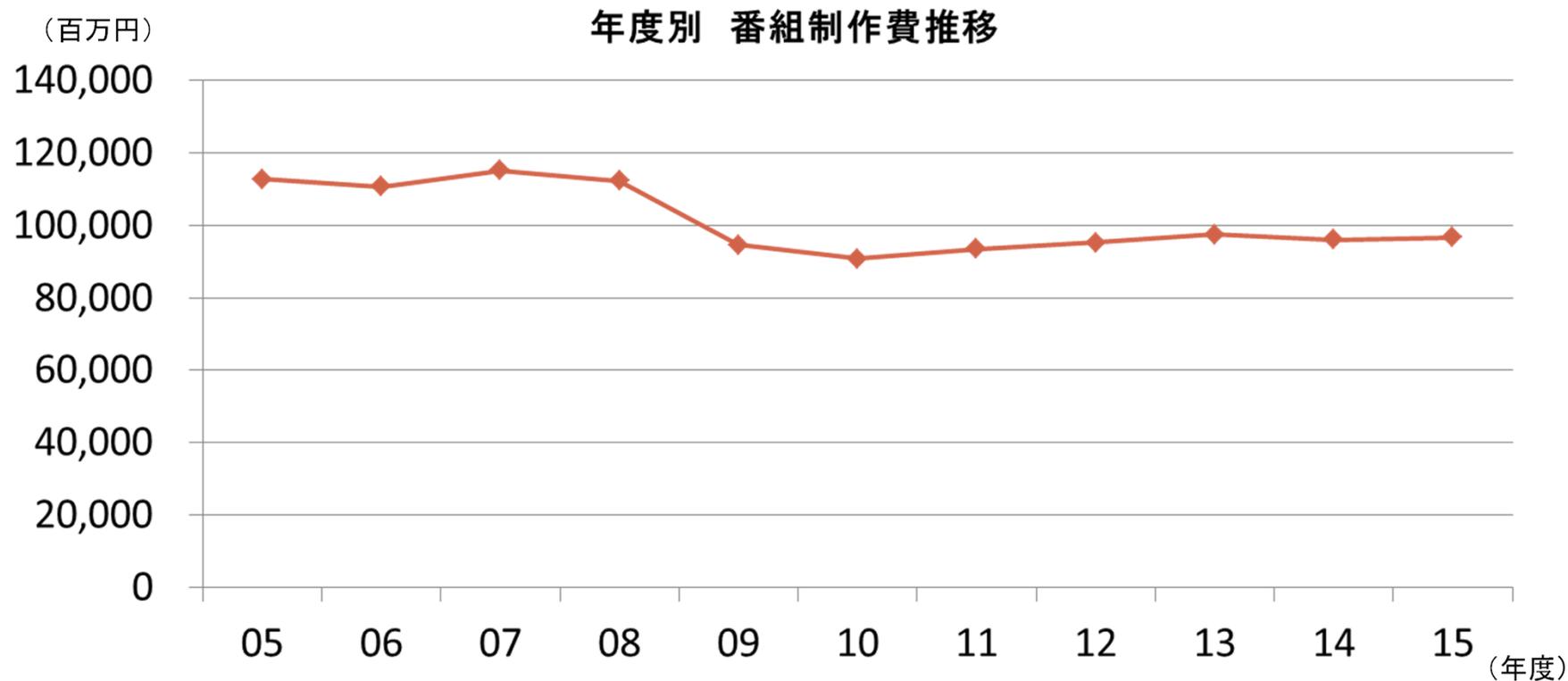
タイム	2014年度	2015年度
4月～9月	2.9%	±0.0%
10月～12月	1.3%	4.9%
1月	4.1%	4.1%
2月	△9.9%	9.6%
3月	2.6%	2.4%
1月～3月	△0.6%	5.1%

スポット	2014年度	2015年度
4月～9月	7.5%	5.6%
10月～12月	8.0%	4.9%
1月	10.2%	7.6%
2月	4.9%	5.3%
3月	7.7%	6.7%
1月～3月	7.5%	6.6%

番組制作費 -地上波放送(日本テレビ放送網)-

(百万円)

2014年度	2015年度	比較	増減率(%)
96,022	96,687	664	0.7



主な事業収支の概況 -日本テレビ放送網-

(百万円)

2015年度		収入	費用	収支
映画事業	昨年	8,382	8,197	185
	当期	11,562	10,399	1,163
通販事業	昨年	9,082	8,645	437
	当期	8,842	8,179	663
イベント事業	昨年	4,819	4,427	391
	当期	6,379	5,203	1,176

主なグループ各社の状況

2015年度 (百万円:未満切捨)	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	金額	増減率(%)	金額	増減率(%)	金額	増減率(%)	金額	増減率(%)
BS日本	15,352	1.6%	1,402	△40.9%	1,482	△39.8%	1,057	△35.2%
CS日本	4,952	△7.1%	927	3.8%	943	2.9%	638	16.8%
日テレ・テクニカル・リソーシズ*	10,623	5.4%	22	△91.8%	46	△85.2%	23	△86.0%
日テレ アックスオン	21,065	△2.3%	1,142	△16.3%	1,164	△16.1%	703	△16.5%
日テレイベンツ	2,709	3.3%	117	4.5%	121	0.8%	76	2.7%
日本テレビアート	8,108	4.4%	165	△39.1%	176	△39.7%	79	△53.5%
日本テレビ音楽	10,785	6.4%	1,586	8.3%	1,786	14.5%	1,212	31.0%
ハップ°	21,445	25.9%	360	-	535	-	229	-
日本テレビサービス	3,192	△4.6%	-28	-	△16	-	-37	-
日本テレビワーク24	4,565	9.4%	141	8.5%	146	10.6%	87	16.0%
フォアキャスト・コミュニケーションズ*	2,828	△5.6%	123	18.3%	211	6.0%	131	13.9%
日テレ7	5,071	9.1%	208	△1.4%	212	△0.9%	114	△3.4%
タツノコプロ	2,043	△4.9%	90	△43.0%	89	△44.7%	40	△45.9%
HJホールディングス	12,764	53.1%	△2,145	-	△2,100	-	△2,138	-
ティップネス	36,360	4.6%	2,859	4.2%	2,549	4.0%	1,564	0.9%

業績予想と前提

2016年度連結業績予想

(百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
第2四半期	203,000	17,600	20,200	14,000
通期	416,000	46,000	50,000	35,000

地上波テレビ広告収入と制作費 予想の前提(前年同期比)

	上期予想	下期予想	通期予想
テレビ広告収入	2.4%	△1.2%	0.5%
タイム	3.0%	△2.8%	△0.1%
スポット	1.9%	0.2%	1.0%
制作費	9.2%	△2.8%	3.2%

配当予想

(単位:円)	第2四半期 普通配当	期末 普通配当	年間配当 合計
2014年度	10円	20円	30円
2015年度	10円	24円	34円
2016年度 (予想)	10円	24円	34円

視聴率の状況

☆2015年「年度」視聴率も 2年連続で三冠王獲得！

- ・2013年12月から本年4月まで29か月連続で月間三冠王獲得
- ・関東地区だけでなく、系列局でも好調な視聴率
→日本テレビ系列26地区中、24地区で年度三冠王を獲得
- ・世帯視聴率と個人視聴率の両立
→引き続きクライアントニーズの高い視聴者層の獲得

☆「プラチナ」でも視聴率首位

- ・前年度比プラチナ帯視聴率0.3%アップし首位獲得
- ・「全日」「プライム」「ゴールデン」「ノンプライム」で2位局と1%以上の差
→朝から深夜まで、万遍なく高視聴率を維持

☆2016年「年間」視聴率も三冠で推移！

2015年「年度」視聴率

期間: 2015/03/30～2016/04/03

* 表示は左からデジタルチャンネル順

	NTV	EX	TBS	TX	CX	2位局との差 (昨年の差)
全日	① 8.5	7.2	5.9	3.0	6.2	+1.3
6時～24時	(Δ0.1)	(+0.1)	(+0.0)	(Δ0.1)	(Δ0.5)	(Δ0.2)
プライム	① 12.2	11.0	9.8	6.5	9.0	+1.2
19時～23時	(Δ0.5)	(Δ0.3)	(+0.5)	(Δ0.2)	(Δ1.0)	(Δ0.2)
ゴールデン	① 12.4	10.8	9.8	6.7	8.9	+1.6
19時～22時	(Δ0.4)	(Δ0.1)	(+0.3)	(Δ0.3)	(Δ0.9)	(Δ0.3)
ノンプライム	① 7.4	6.1	4.8	2.0	5.4	+1.3
全日-プライム	(Δ0.1)	(+0.2)	(Δ0.1)	(Δ0.1)	(Δ0.4)	(Δ0.3)
プラチナ	① 7.4	6.9	4.7	2.8	4.7	+0.5
23時～25時	(+0.3)	(Δ0.4)	(Δ0.1)	(+0.1)	(Δ0.3)	(+0.7)

* 世帯視聴率(関東地区)・ビデオリサーチ調べ

2016年「年間」視聴率

期間:2016/01/04～2016/05/15

* 表示は左からデジタルチャンネル順

	NTV	EX	TBS	TX	CX	2位局との差 (昨年の差)
全日	① 8.6	7.5	6.0	2.9	6.1	+1.1
6時～24時	(Δ0.5)	(+0.4)	(±0.0)	(Δ0.2)	(Δ0.6)	(Δ0.9)
プライム	① 12.2	10.9	9.6	6.4	8.6	+1.3
19時～23時	(Δ1.0)	(Δ0.7)	(±0.0)	(Δ0.1)	(Δ1.2)	(Δ0.3)
ゴールデン	① 12.5	10.6	9.7	6.7	8.4	+1.9
19時～22時	(Δ0.9)	(Δ0.8)	(±0.0)	(Δ0.1)	(Δ1.2)	(Δ0.1)
ノンプライム	① 7.5	6.5	4.9	1.9	5.4	+1.0
全日ープライム	(Δ0.4)	(+0.7)	(Δ0.1)	(Δ0.2)	(Δ0.5)	(Δ1.0)
プラチナ	① 7.2	7.2	4.7	2.9	4.5	±0.0
23時～25時	(Δ0.2)	(±0.0)	(Δ0.3)	(+0.3)	(Δ0.4)	(Δ0.2)

* 世帯視聴率(関東地区)・ビデオリサーチ調べ

テレビ広告収入 -地上波放送(日本テレビ放送網)-

タイム	2014年度	2015年度	スポット	2014年度	2015年度
4月	2.4%	0.7%	4月	△1.0%	7.3%
5月	0.3%	6.7%	5月	15.1%	1.9%
6月	10.0%	△12.9%	6月	5.0%	0.2%
7月	5.0%	△0.1%	7月	7.7%	9.6%
8月	0.4%	4.2%	8月	11.0%	9.8%
9月	△0.2%	2.1%	9月	9.1%	6.0%
10月	0.0%	4.1%	10月	9.8%	1.5%
11月	7.6%	3.3%	11月	1.0%	8.8%
12月	△2.9%	7.0%	12月	14.1%	4.2%
1月	1.3%	4.1%	1月	10.2%	7.6%
2月	△9.9%	9.6%	2月	4.9%	5.3%
3月	2.6%	2.4%	3月	7.7%	6.7%

バップ、ティップネス 概況

☆バップ

単位:百万円

2015年度	売上	営業利益	経常利益	当期純利益
	21,445	360	535	229

CD(ミスチルアルバム等),DVD(「バケモノの子」等)のヒット、経営改善の効果あり、前年度の営業損失948百万円からV字回復。

☆ティップネス

単位:百万円

2015年度	売上	営業利益	経常利益	当期純利益
	36,360	2,859	2,549	1,564

FASTGYM24

2016年3月末時点 37店舗 (2015年度に23店舗新規出店)
今後も新規出店継続方針

HJ ホールディングス 概況

☆HJホールディングス

単位:百万円

2015年度	売上	営業利益	経常利益	当期純利益
	12,764	△2,145	△2,100	△2,138

- ・2016年3月末有料会員数 約130万人
2015年度有料会員増加数30万人超
- ・売上 約127億円 前年比約44億円増
- ・営業損失 約21億円 前年比約15億円改善
- ・会員獲得のためプロモーション費用およびコンテンツ獲得費用投下
今後もオリジナルコンテンツの制作を積極的に推進
- ・2017年3月末 目標有料会員数 166万人
- ・2016年度(予想) 売上 16,784百万円
営業損失 1,790百万円





次頁から
補足資料です

営業収入 -日本テレビ放送網-

(百万円)

	2014年度	2015年度
放 送 収 入	238,511	248,450
タ イ ム	115,402	118,368
ス ポ ッ ト	123,109	130,082
番 組 販 売 収 入	10,899	11,442
事 業 収 入	38,427	44,946
不 動 産 賃 貸 収 入	2,622	2,237
合 計	290,460	307,077

営業費用 - 日本テレビ放送網 -

(百万円)

	2014年度	2015年度
番組制作費	96,022	96,687
支払電波料	29,938	31,088
代理店手数料	42,701	44,807
人件費	20,729	21,507
減価償却費	6,817	7,550
事業費	31,670	35,539
諸経費	24,530	24,063
合計	252,411	261,244

スポット業種別売上シェア -地上波(日本テレビ放送網)-

2014年度		シェア	増減率 (%)	2015年度		シェア	増減率 (%)
1	化粧品・トイレタリー	12.9	16.8	化粧品・トイレタリー	13.7	12.9	
2	運輸・通信	12.1	41.3	運輸・通信	12.4	8.5	
3	輸送機器	7.4	△3.7	薬品	6.7	4.9	
4	薬品	6.7	10.6	サービス	6.5	8.6	
5	サービス	6.4	27.1	輸送機器	5.7	△18.8	
6	金融・保険業	5.5	△6.7	金融・保険業	5.2	0.6	
7	非アルコール飲料	4.9	△10.4	映画・演劇興行	4.7	12.3	
8	電気機器	4.9	△3.7	非アルコール飲料	4.5	△2.9	
9	映画・演劇興行	4.4	11.9	電気機器	4.4	△6.3	
10	出版	3.6	17.1	卸売・百貨店	4.4	30.4	

* 増減率は実績の前年同期比。内部管理数値です。

日本テレビ放送網事業収支

2015年度 事業種別収支

(百万円)

	収入	費用
有料放送	8,513	4,150
ライツ	2,061	964
通販	8,842	8,179
映画	11,562	10,399
イベント	6,379	5,203
海外ビジネス	1,697	788
その他	5,893	5,856
合計	44,946	35,539

設備投資と減価償却

(億円)

2015年度	設備投資額	減価償却費
連結	165	104

連結予想	設備投資額	減価償却費
2016年度	349	124
2017年度	185	144
2018年度	299	147

* 予想数値は内部管理の数値です。

セグメント別 実績

(百万円)

2015年度	報告セグメント				その他	合計	調整額	連結損益 計算書 計上額
	コンテンツ ビジネス 事業	生活・ 健康関連 事業	不動産 賃貸事業	計				
売上高	373,970	36,360	9,888	420,220	3,205	423,425	△8,645	414,780
セグメント利益	48,797	1,196	3,723	53,718	△25	53,692	△514	53,178
(参考)								
のれん等償却費控除前 セグメント利益	48,992	2,979	3,723	55,695	△25	55,670		

事業区分	主な事業内容
コンテンツビジネス事業	テレビ広告枠の販売、有料放送事業、動画配信事業、映像・音楽等のロイヤリティ収入、パッケージメディア等の販売、通信販売、映画事業、イベント・美術展事業、コンテンツ制作受託
生活・健康関連事業	総合スポーツクラブ事業
不動産賃貸事業	不動産の賃貸、ビルマネジメント

2015年度「日本テレビ」世帯視聴率詳細一覧

	全日	プライム	ゴールデン
4月月間	①8.6	①12.5	①12.6
5月月間	①8.3	①12.4	①12.5
6月月間	①8.2	①12.0	①12.2
7月月間	①8.5	①12.2	①12.2
8月月間	①8.7	①12.4	①12.5
9月月間	①8.4	①12.2	①12.4
10月月間	①8.2	①11.9	①12.0
11月月間	①8.1	①12.1	①12.1
12月月間	①8.7	①12.0	①12.0
1月月間	①8.7	①13.2	①13.3
2月月間	①8.7	①12.0	①12.4
3月月間	①8.5	①12.2	①12.7

	全日	プライム	ゴールデン
4月クール	①8.4	①12.3	①12.4
7月クール	①8.5	①12.3	①12.4
10月クール	①8.4	①12.0	①12.0
1月クール	①8.7	①12.5	①12.8
年間	①8.5	①12.2	①12.4

* 世帯視聴率(関東地区)・ビデオリサーチ調べ

2016年「映画事業」主なラインナップ

☆日テレ主幹事

公開	作品名	配給	備考
4/16	名探偵コナン 純黒の悪夢(ナイトメア)	東宝	大ヒットシリーズ、いよいよ第20弾。謎に包まれ続ける「黒ずくめの組織」がいよいよ登場。第19弾は44.7億円のシリーズ最高記録達成
4/29	☆ちはやふる 下の句	東宝	累計販売数1400万部突破！青春映画の大本命、感動の2部作でついに映画化！
7/16	HiGH&LOW 劇場版(仮)	松竹	連続ドラマ×Hulu×劇場映画、さらに音楽、ライブツアー、コミック化、SNS連動など、新しい総合エンターテインメントプロジェクト！LDH&豪華キャストが出演
8/6	☆ルドルフとイッパイアッテナ	東宝	長く愛され続けている大ヒット児童文学を原作に描く大型フル3DCGアニメーション。猫たちの友情と冒険、出会いと別れの物語
9/22	☆真田十勇士	松竹・日活	事業局内連動企画。あのヒット舞台「真田十勇士」が<舞台×映画>で復活！演劇界・映画界連動の史上初の画期的な一大Wプロジェクト！
10/29	☆デスノート Light up the NEW world	ワーナー	「そのノートに名前を書かれた人間は死ぬ・・・」ライトとL、天才同志の対決に終止符が打たれて10年。あの「デスノート」復活！！
12/10	☆海賊とよばれた男	東宝	大ヒット作品「永遠の0」チームは再集結！主演岡田准一、監督山崎貴が大ベストセラーを完全映画化！

2016年「イベント事業」 主なラインナップ

期間	イベント名	内容
2016/3/19 ～6/5	ボストン美術館所蔵 「俺たちの国芳 わたしの国貞」	ボストン美術館が所蔵する膨大な浮世絵コレクションから、幕末の鬼才と呼ばれた兄弟弟子、歌川国芳、国貞の作品、およそ170件を展示。@Bunkamuraザ・ミュージアム、以後神戸、名古屋に巡回
7/16～20 8/18～22	ディズニー・オン・アイス2016 「アナと雪の女王」	日本上演31年目。社会現象を巻き起こした「アナと雪の女王」を、トップスケーターが氷上で繰り広げます。 @国立代々木競技場第一体育館(7月)、横浜アリーナ(8月)
7/22～ 8/31	ドラゴンクエスト ライブスペクタクルツアー	日本初のオリジナルアリーナショー。国内外のトップクリエイターが、「ドラゴンクエスト」の世界を目の前に出現させます！ @さいたまスーパーアリーナほか全国5大アリーナ
9/10～ 10/23(予)	舞台「真田十勇士」	2014年に大ヒットした舞台の再演。前回に引き続き、主演中村 勘九郎、監督堤幸彦。さらに堤監督、勘九郎主演で映画も同時期公開します。@新国立劇場(東京・渋谷)ほか全国3会場
10/25～ 2017/2/26	ヴェルサイユ宮殿美術館 「マリー・アントワネット展」 ～美術品が語るフランス王妃の真実(仮)	日本初、ヴェルサイユ宮殿美術館の全面協力のもと、肖像画や 王妃が身につけていた衣服、ゆかりの品々などでその生涯を たどる“マリー・アントワネット展の決定版”。 @森アートセンターギャラリー
9/14～ 12/12	「ダリ展」(仮)	20世紀のスペインを代表する画家サンバドール・ダリ。本展は、グラフィック、オブジェ、ジュエリーなど様々な表現媒体で展開された初期から晩年までのダリの多方面にわたる創作の軌跡を約200点によりたどる。@新国立美術館
2017/1 (予)	「David Bowie is」日本開催	デヴィッド・ボウイのアーカイヴから厳選された300点以上の貴重な品々が展示、音楽、ファッション、デザイン、演劇、アート、フィルムなど、ボウイの世界観が忠実に表現された大規模な回顧展。現在までにカナダ、ブラジル、ドイツ、アメリカ、フランス、オーストラリア、オランダで開催したイベントが日本に。